

## 様式07 実施報告書

### 情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	主催団体	行事形式(※)			行事名
C018	一般財団法人真咲映像財団	(3)			『手のひらのデジタル・スマホで変わる新しいメディア』
開催日	開催場所		行事 参加人数	Webサイト・URL	
5月23日	東京タワーメディアセンター内 STUDIO VENUS		50	<a href="https://www.masaki-eizo-foundation.com/">https://www.masaki-eizo-foundation.com/</a>	

#### 行事実施概要・アピール等

##### ◎ 2025情報通信月間参加イベント

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の普及はX(旧Twitter) Instagram, TikTokなどのプラットフォームでの情報即時発信など手軽に個人でも情報発信が出来る時代となりました。しかし一方で様々な弊害や情報操作やフェークなど由々しき問題も発生しています。

私達は今年度は「デジタルで変える社会が未来を創る」このテーマの中心にスマートフォンを活用した情報発信、報道、映画制作の現状と未来と言う点に絞り『手のひらのデジタル・スマホで変わる新しいメディア』というタイトルで、問題点から未来への展開まで

社会に益々影響力を増している、手のひらのデジタルを考えます。

そのひとつの大きな事例が、スマホを使った報道系ドキュメンタリー映画『苦悩のリスト』2021年、タリバン復権が迫ったアフガニスタンからアーティストや映画関係者を救おうとする有志の活動を追ったドキュメンタリー。iranの巨匠モフセン・マフマルバフ監督の次女で「hanaのアフガンノート」などの監督作で知られるhana・マフマルバフが全編スマートフォンで撮影し、救援にあたるマフマルバフ・ファミリーが限られた時間のなかで膨大なリストからの“選別”を迫られる姿を映し出した問題作(現在上映中)

この作品の日本公開のプロデュースをされたのがショーレ・ゴルパリアン

Shohreh Golparianさんです。彼女は、映画プロデューサー、翻訳家、東京芸術大学大学院映像研究科客員教授。iran西部ハマダーン生まれ。アッザーラ女子大学翻訳学科(英語・フランス語)卒業。79年来日、在日iran大使館の大天使秘書などを務める。89年帰国、iranイスラム共和国放送で日本のテレビドラマや映画を多数翻訳・紹介されています。ショーレ・ゴルパリアンさんをメインスピーカーに迎えて、日本の映像アーティスト他(現在選考中)との座談会方式のセミナーを開催し、スマートフォンにフォーカスを当てた「デジタルで変える社会が未来を創る」それは身近なスマートフォンが社会に与える様々な影響と発信力を検証する『手のひらのデジタル・スマホで変わる新しいメディア』としてセミナーを開催致しました。

